

「アマモすくすくプロジェクト」始動！

～ 地元の5年生が海の環境を学びました！ ～

みなさん、こんにちは。水産課です！

南島原市の豊かな海を未来へつなぐため、深江ブループロジェクト活動組織が主催する「アマモすくすくプロジェクト」が今年もスタートしました！深江小学校、小林小学校、大野木場小学校の5年生がプロジェクトに参加し、1年間活動をしていきます。

今回は、「アマモ学習会」と「アマモの種とり」の様子をお届けします。

【ステップ1】アマモってどんな役割があるの？

深江ブループロジェクトのみなさんから、「アマモ場」が海から減ってしまっていること、海の中で「アマモ場」がどれだけ大切な役割をしているかを学びました。

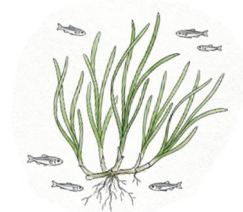
- ①潮流をやわらげ、イカが卵を産んだり、小さな魚たちが敵から隠れて安全に育つ場所になります。
- ②二酸化炭素を吸い込んで、海水や土壌中に酸素を作ってくれます。
- ③海中の栄養分を吸収し、海水をきれいにし、透きとおった海を作ってくれます。

アマモ場 = 海辺のゆりかご



「海藻」と「海草」の違いを当てるクイズでは、みんな大盛り上がり！

楽しみながら、熱心に取り組んでいました。



【ステップ2】いざ海へ！みんなでアマモの種とり

学習会でアマモの大切さを学んだあとは、実際に深江の海に入りました。

冷たい海水の感触に歓声をあげながら、アマモの種を丁寧に探します。最初はアマモの種を見つけることが難しかったですが、少しずつコツをつかんで集めていました。



アマモの種をとったあとは、アマモ場に生息している生物の観察を行いました。アマモ場へ網を入れ、何か入らないか優しくすくって捕まえていました。





生物観察を終えたら、刺し網漁の体験です。
プロジェクトメンバーが、前日から仕掛けてくださった網を引きました。
みんなで声を合わせて「せーのっ！！」 何がかかっているのかみんな興味津々でした。



今後の予定

みんなが頑張ってくれた大切な種は、種まきの時期まで海水で保管します。

【ステップ3】種子選別と種まき

集めた種をきれいに選別し、秋にはみんなが深江の海にまく予定です。

【ステップ4】料理教室

深江の海で育った魚や海藻を、みんなが調理しおいしくいただきます。

南島原の豊かな海を守るため、小さな一歩を踏み出した5年生。

これからの活動も水産課のホームページで紹介していきます。

